

補助金等調査表（チェックシート）

所属 _____

（１）補助金の内容

名 称		
交 付 開 始 年 度		終了予定年度
交 付 先		
交付の目的・必要性		
対象事業の内容		
形 態		<input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助 <input type="checkbox"/> 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは <input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助
直近の見直し状況	見直した時期	
	内 容	
交 付 申 請	受領書類	<input type="checkbox"/> 事業計画書 <input type="checkbox"/> 収支予算書 その他（ ）
	確認内容	
実 績 報 告	受領書類	<input type="checkbox"/> 実績報告書 <input type="checkbox"/> 収支決算書 その他（ ）
	確認内容	

補助金等調査表（チェックシート）

（２）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
公益性	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がないならば事業を実施できない理由・具体的な根拠を記入
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。	
補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。	
補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。	

補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由を記入。
			「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。
	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		評価	評価理由
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
	国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）

補助金等調査表（チェックシート）

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
	団体内で、補助金の用途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
	補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。
	市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。
	繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 （※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと）	評価
			直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越金額 _____ 円 { うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円
		繰越金額が生じた具体的な原因について記入。	
上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。		評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

補助金等調査表（チェックシート）

(3) 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

※詳細は別紙国県・近隣市比較表のとおり

--

(4) 補助金の課題

--

(5) 所属長の総合評価

--

(6) 補助金の今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行 継続の 理由	
-----------------	--

見直しの時期	
見直しの 内容	

廃止の時期	
廃止の理 由	

国県・近隣市比較表

<別紙>

所属 _____

補助金名 _____

※次のいずれかを選択してください。

- 国・県補助要綱に規定のある補助金 → (1)と(3)を作成してください。
- 独自で実施している補助金 → (2)と(3)を作成してください。

(1) 国県・近隣市補助金との比較

		国要綱	県要綱	浦安市	市川市	船橋市	習志野市	江戸川区
補助区分				<input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し <input type="checkbox"/> 国県要綱通り	<input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し <input type="checkbox"/> 国県要綱通り	<input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し <input type="checkbox"/> 国県要綱通り	<input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し <input type="checkbox"/> 国県要綱通り	<input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し <input type="checkbox"/> 国県要綱通り
要綱名等 (根拠)								
補助基準 補助対象の内容								
補助単価 補助限度額(上限)								
国・県要綱との 比較	上乗せ							
	横出し							
補助率								

国県・近隣市比較表

<別紙>

(2) 近隣市補助金との比較（国県要綱に定めなく、市の単独で補助実施の場合）

		浦安市	市川市	船橋市	習志野市	江戸川区
要綱名等 (根拠)						
補助基準 補助対象の内容						
補助単価 補助限度額(上限)						
浦安市との比較	単価 限度額					
	対象範囲					
補助率						

(3) 補助金予算決算額の推移

(単位:千円、件)

市町村名	平成28年度					平成27年度				
	浦安市	市川市	船橋市	習志野市	江戸川区	浦安市	市川市	船橋市	習志野市	江戸川区
予算額										
決算額										
決算時の補助対象件数(延べ)										